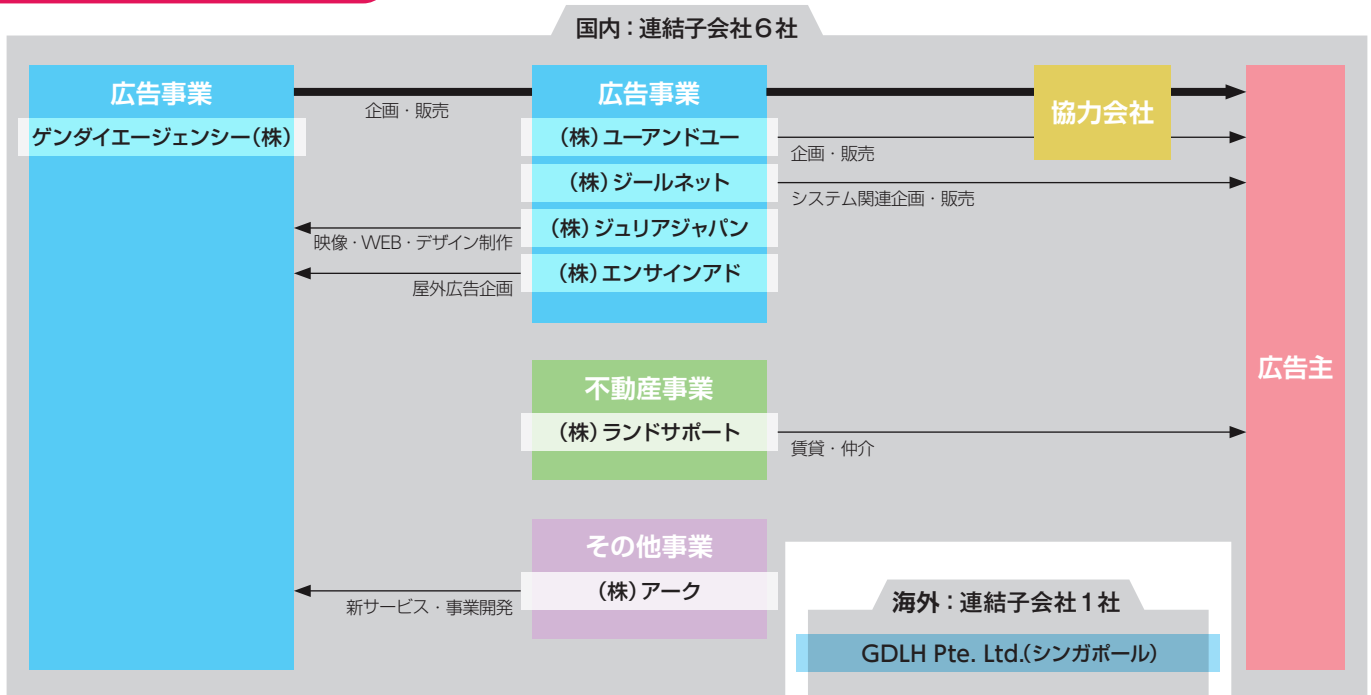


# 株主通信

2020年3月期 第2四半期

2019年4月1日～9月30日

**ゲンダイエージェンシー株式会社**



## 1. 広告事業

### ゲンダイエージェンシー(株)

パチンコホールを主軸とした広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

### (株) ユーアンドユー

通信販売会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

### (株) ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

### (株) ジールネット

広告システム等の企画制作

### (株) エンサインアド

屋外広告枠の仕入れ、開発、企画販売

## 2. 不動産事業

### (株) ランドサポート

パチンコホールをはじめとした不動産の賃貸、仲介

## 3. その他事業

### (株) アーク

新サービス、新事業の調査開発

## 基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

## グループ経営指針

1. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略実現のパートナーとして、信頼される企業を目指します。
2. 私達は、広告事業の枠にとらわれない、新しいビジネスモデルやツールの開発に挑戦し続けます。
3. 私達は、常に真摯な姿勢と熱意をもって、最良なサービスの提供に努めます。

## 株主の皆様へ



代表取締役 CEO 山本 正卓

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、2020年3月期第2四半期連結累計期間のご報告を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費も緩やかに持ち直しの動きが見られ、穏やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性や、消費税率の引き上げに対する心理的影響により、依然として不透明な状態が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界では、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いております。また、昨今の依存問題対策や射幸性抑制を目的とした業界の規制強化の流れを受け、先行きに不安を感じるホール企業は増加傾向にあります。そのため業界全体では新規出店や店舗リニューアル、新遊技機の購入といった投資意欲が、過去と比較しても著しく減退しつつあることがうかがえます。

こうした厳しい環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、特定業界に過度に依存しない収益の多様化を方針として掲げ、パチンコホール以外の分野の市場開拓を進めております。フィットネス業界向け広告領域における拡販や、デザイン受託業務の強化、インターネット求人広告の取り扱いなどにより、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,768百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益は285百万円(同32.3%減)、経常利益は253百万円(同45.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は減損損失112百万円等の特別損失を計上したことにより24百万円(同91.8%減)となりました。

以上の経営成績をふまえ、1株当たりの年間配当金は25円とし、中間配当金1株当たり12円のお支払い開始日は2019年12月9日(月)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2019年12月

### 広告事業

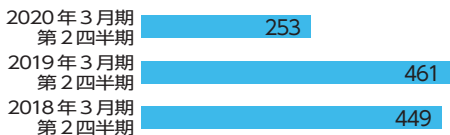
当第2四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、パチンコホール企業での収益性悪化を要因とする広告予算の削減が続いたことに加え、新台入替の頻度が減少したことによる告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況にありました。さらに、新規出店意欲の減退もあり、例年と比較しても極端に少なかったことから、大型の新規出店告知需要は減少いたしました。

こうした環境下において当社グループは、パチンコホール向け広告分野で

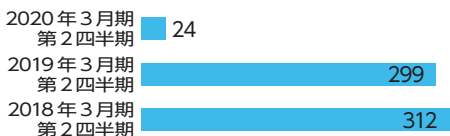
● **売上高 (連結)** (単位: 百万円)



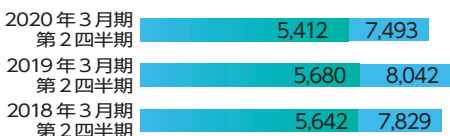
● **経常利益 (連結)** (単位: 百万円)



● **親会社株主に帰属する四半期純利益 (連結)** (単位: 百万円)



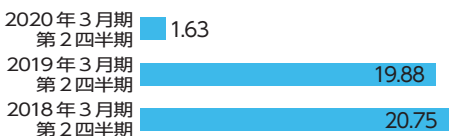
● **総資産額/純資産額 (連結)** (単位: 百万円)



● **1株当たり純資産額 (連結)** (単位: 円)



● **1株当たり四半期純利益 (連結)** (単位: 円)



は、従来の紙媒体広告からインターネット広告への段階的なシフトによる収益構造の転換を図るべく、自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアへのシフトを推進しました。また、需要に応じた営業体制最適化の観点から、パチンコ以外の広告分野への人的資源のシフトを開始いたしました。

パチンコホール以外の広告分野においては、フィットネス業界向け広告領域における営業強化、オンラインデザイン受託サイト「アドラク!」を中心としたデザイン受託業務やインターネット求人広告の販売強化を実施してまいりました。

なお、パチンコホール広告以外の広告分野における市場開拓には相応の時間を要すると見込まれる一方、パチンコホール広告分野の需要減退が大きく影響したことから、売上高は5,656百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益は501百万円(同20.6%減)となりました。

## 不動産事業

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社(株)ランドサポートにおいて、2017年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、パチンコホールM&A案件や賃貸物件仲介案件(50百万円)を成約いたしました。その結果、売上高は75百万円(前年同期比46.5%増)、セグメント利益は44百万円(同25.1%増)となりました。

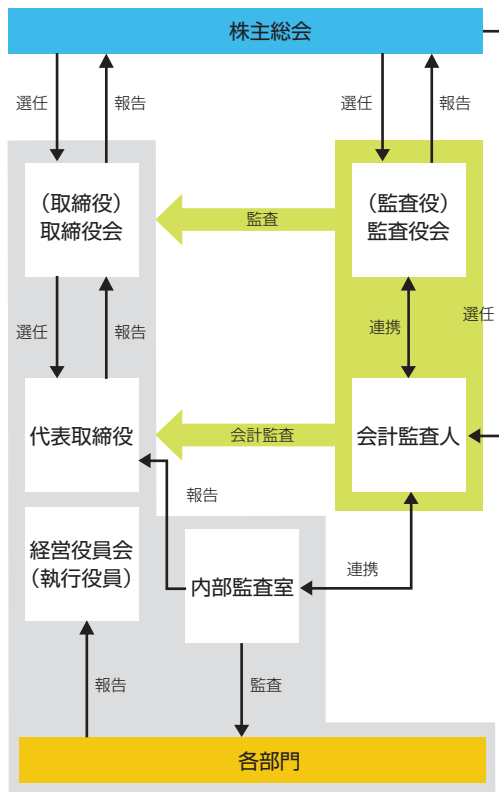
## その他

当第2四半期連結累計期間においては、東南アジアにおける電子カジノ運営受託事業を手掛けるシンガポール連結子会社GDLH Pte.Ltd.(以下、GDLH社)において、カンボジアのパイリン地区およびポイペト地区のカジノにおけるスロットマシンオペレーション業務を受託し、運営しております。当第2四半期連結累計期間においては、運営受託中のカジノ施設における集客力低下の影響により、収益は伸び悩みました。

その結果、売上高は36百万円(前年同期比31.5%増)にとどまり、セグメント損失は、収益の低迷や初期投資の償却負担の影響などにより99百万円(前年同期は77百万円の損失)となりました。

なお、東南アジアにおける電子カジノ運営受託事業については、営業赤字が継続しており、この先の見通しにおいても業績の大幅な改善は困難であると判断されることや、中古カジノマシン流通価格の下落により、当第2四半期において、GDLH社の保有マシンについて112百万円の減損損失を計上するに至った点を勘案し、2019年10月18日開催の当社取締役会において、本事業からの完全撤退の方針を決定しております。

# コーポレート・ガバナンス、配当政策



## 基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性(コンプライアンス)と透明性(ディスクロージャー)を確保しながら、常に株主の皆様のご利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

## 取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

## 監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。

## 配当政策

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させると同時に、これまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施し、中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。

目標とする連結配当性向は、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%(連結ベース)を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングで自己株式の取得を実施してまいります。

# インターネット広告の展開

## 広告事業の収益構造の転換

広告業を基本軸に、パチンコホール分野とそれ以外の分野に向けて、インターネットを活用した様々なサービスを提供し、収益構造の転換に取り組んでいます。

### 一般向け広告分野

#### サイトリニューアル

全国フィットネス施設検索サイト  
「FIT Search」ロゴ変更

**FIT Search**



<https://fitsearch.jp/>

フィットネス業界特化型ウェブ広告  
「Fitness Ad」



デザイン受託サイト「アドラク！」



<https://adluckdesign.com/>

育児・ママ向けウェブサイト  
「Up to You!」

Up to you!



<https://up-to-you.me/>

異業種向けプリンティング事業



### パチンコホール広告分野

インターネットメディア「パチ7」



<http://pachiseven.jp/>

パチンコ・パチスロデータベース  
サイト「777(スリーセブン)」



<https://777pachiseven.jp/>

パチンコホール向けDSP\*広告  
「PachiAd(パチアド)」



全業種向け Web 広告配信サービス  
「Location Ad」(略称:ロケアド)

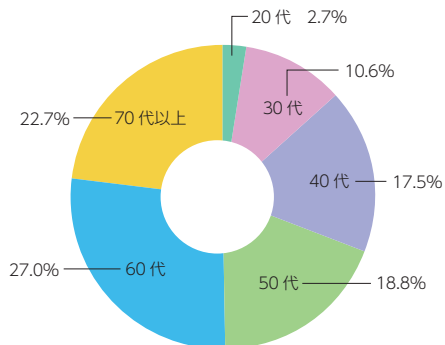
Location Ad  
～ロケアド～

\* DSP とは… Demand-Side Platform(デマンド・サイド・プラットフォーム)の略称。広告主側が使用する、広告配信ツールとその周辺のこと。

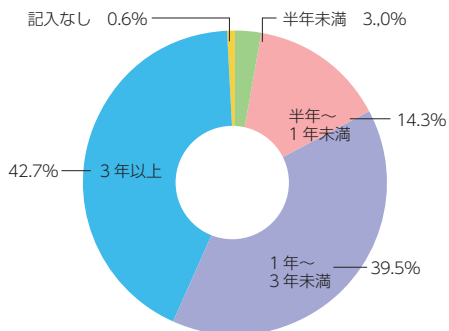
# アンケート結果のご報告

## 回答者属性

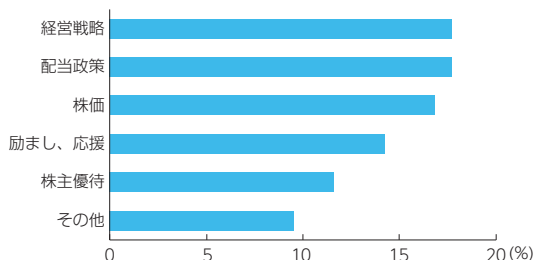
### 年代



### 保有期間



## ご意見・ご要望の傾向 (フリーコメント)



## 2019年3月期 株主通信アンケートより

当社では、株主の皆様とより一層のコミュニケーションを図るため、株主アンケートを行っております。前回の2019年3月期株主通信でお願いいたしました株主アンケートには、多くのご回答をいただき厚くお礼申し上げます。頂戴した貴重なご意見は、今後の経営に役立てるとともに、IR活動の参考にさせていただきます。

今後も、株主の皆様のご意見、ご要望を頂戴し、アンケートを実施してまいりますので、その際はどうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 主なご意見・ご要望 (フリーコメント)

- 業界的に厳しいと思いますが、他業界に進出等のイノベーションを期待します
- パチンコホール向けの広告が縮小するなか、年間配当金を維持するのは大変かと思えます。経営陣のみなさまには大変感謝します。ネット広告を中心とした事業が軌道に乗るには少し時間がかかりそうですが、期待しています
- 長期的には業績の改善、短期的には株価対策をお願いします
- 株主優待の導入を検討してほしい

今後も、皆様からいただいたご意見を活かしながら、より良い会社経営に取り組んでまいります。



## 第2 四半期財務諸表

### ① 資産合計

主に納税、利益配当などにより現金及び預金が257百万円減少した他、GDLH社の保有マシンについて112百万円の減損損失を計上したことなどにより、前連結会計年度末と比較して600百万円減少の7,493百万円となりました。

### ② 負債合計

主に借入金(長期含む)が170百万円減少した他、未払法人税等が99百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して383百万円減少の2,080百万円となりました。

### ③ 純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円を計上した一方で、利益配当195百万円を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して216百万円減少の5,412百万円となりました。

## 第2 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	当第2 四半期連結会計期間 (2019年9月30日現在)	前連結会計年度 (2019年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>5,726</b>	<b>6,009</b>
現金及び預金	4,148	4,405
受取手形及び売掛金	1,317	1,410
有価証券	152	53
その他	110	143
貸倒引当金	△ 2	△ 3
<b>固定資産</b>	<b>1,767</b>	<b>2,084</b>
有形固定資産	793	985
無形固定資産	92	100
投資その他の資産	881	998
<b>① 資産合計</b>	<b>7,493</b>	<b>8,093</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,397</b>	<b>1,631</b>
支払手形及び買掛金	746	757
1年内返済予定の長期借入金	400	420
未払法人税等	67	166
その他	184	287
<b>固定負債</b>	<b>683</b>	<b>833</b>
長期借入金	650	800
資産除去債務	8	8
その他	24	24
<b>② 負債合計</b>	<b>2,080</b>	<b>2,464</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,588	3,759
<b>株主資本合計</b>	<b>5,403</b>	<b>5,574</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	0	△ 8
為替換算調整勘定	△ 14	△ 6
その他の包括利益累計額合計	△ 13	△ 15
<b>非支配株主持分</b>	<b>22</b>	<b>70</b>
<b>③ 純資産合計</b>	<b>5,412</b>	<b>5,628</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>7,493</b>	<b>8,093</b>



## 第2 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

区分	当第2 四半期 累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	前第2 四半期 累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)
<b>4</b> 売上高	5,768	6,272
売上原価	4,287	4,646
売上総利益	1,480	1,625
販売費及び一般管理費	1,195	1,204
<b>4</b> 営業利益	285	421
営業外収益	10	45
営業外費用	42	4
経常利益	253	461
特別損失	144	—
税金等調整前四半期純利益	108	461
法人税、住民税及び事業税	141	184
法人税等調整額	△ 11	△ 5
法人税等合計	129	178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 21	282
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 45	△ 16
<b>4</b> 親会社株主に帰属する四半期純利益	24	299

### 4 売上高・営業利益・四半期純利益

当社グループでは、主力の広告事業において、特定業界に過度に依存しない収益の多様化を方針として掲げ、パチンコホール以外の分野の市場開拓を進めています。フィットネス業界向け広告領域における拡販やデザイン受託業務の強化に加えて、インターネット求人広告の取り扱いなどにより収益の底上げに向けた取り組みを進めました。その結果、売上高は前年同期と比較し8.0%減少の5,768百万円、営業利益は同32.3%減少の285百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は減損損失112百万円などの特別損失を計上したことにより、同91.8%減少の24百万円となりました。

### 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益108百万円を計上した他、主として減価償却費99百万円を計上したことなどにより、170百万円の収入(前年同期は515百万円の収入)となりました。

## 第2 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

区分	当第2 四半期 累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	前第2 四半期 累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 21	282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	1
為替換算調整勘定	△ 9	△ 17
その他の包括利益合計	0	△ 16
四半期包括利益	△ 20	266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26	286
非支配株主に係る四半期包括利益	△ 47	△ 20

## 第2 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当第2 四半期 累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	前第2 四半期 累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)
<b>5</b> 営業活動によるキャッシュ・フロー	170	515
<b>6</b> 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26	△ 333
<b>7</b> 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 365	△ 115
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 36	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 257	93
現金及び現金同等物の期首残高	4,399	3,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,141	4,042

### 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

主として固定資産取得による支出など31百万円があったことなどから、26百万円の支出(前年同期は333百万円の支出)となりました。

### 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金(長期含む)の返済による支出170百万円があった他、前連結会計年度決算に係る期末配当金の支払195百万円があったことなどにより365百万円の支出(前年同期は115百万円の支出)となりました。

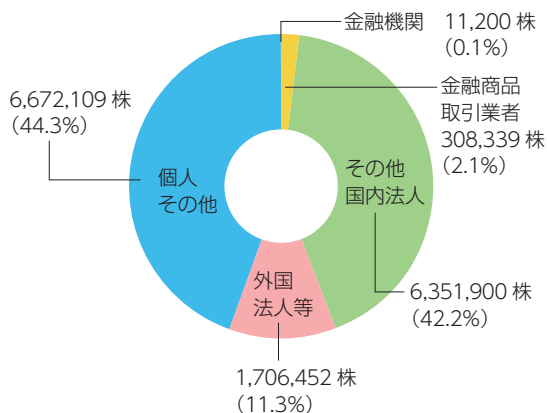
# 株式の状況

< 2019年9月30日現在 >

## 株式の状況

発行する株式の総数 ..... 66,400,000 株  
 発行済株式総数 ..... 15,050,000 株  
 株主数 ..... 6,467 人

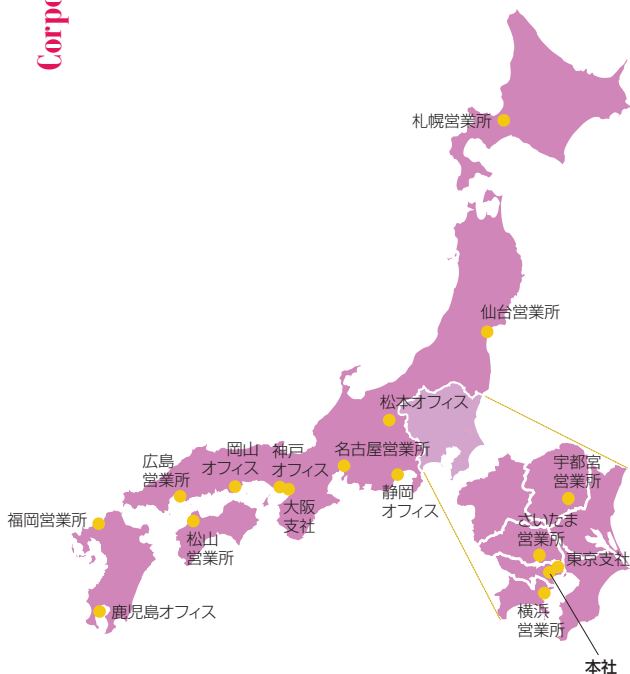
## 所有者別株式分布状況



## 大株主

株主名	持株数 (株)	%
1 アセット・マネジメント・アドバイザーズ(株)	5,244,000	34.9
2 BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND 常任代理人 (株)三菱UFJ銀行	850,000	5.6
3 ジャパンプリント(株)	480,000	3.2
4 梅田 美智子	359,400	2.4
5 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部	350,000	2.3
6 山本 正卓	322,400	2.1
7 完山 敏錫	320,000	2.1
8 SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT 常任代理人 香港上海銀行東京支店	174,494	1.2
9 ゲンダイエージェンシー従業員持株会	155,500	1.0
10 株式会社シルバークループ	120,000	0.8

# 会社情報



## 会社概要

< 2019年9月30日現在 >

商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 (GENDAI AGENCY INC.)
本社所在地	〒163-1429 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 29F TEL: 03-5308-9888 (代表)
設立	1995年4月
資本金	7億5,159万1,776円
発行済株式総数	15,050,000株
業務内容	広告、宣伝に関する企画および制作
事業所	●本社 ●全国16営業拠点 (札幌、仙台、東京、宇都宮、さいたま、横浜、松本、名古屋、静岡、大阪、神戸、広島、岡山、松山、福岡、鹿児島)
連結子会社	(株) ランドサポート / (株) ユーアンドユー / (株) ジュリアジャパン / (株) ジールネット / (株) エンサインアド / (株) アーク / GDLH Pte. Ltd.

## 役員一覧

< 2019年6月26日現在 >

代表取締役 CEO	山本 正卓
代表取締役 COO	上川名 弦
取締役 CFO	高 秀一
取締役	木藤 友治
取締役	坂本 哲進
取締役(社外)	加治屋 美弥子
取締役(社外)	小林 泰士
常勤監査役	安達 吉明
監査役	寺田 公規
監査役	東 徹
監査役	高野 健二

